

検証会議に見る地域MC体制と地域医療体制の強靭な連携基盤の構築

大阪府泉州地域MC協議会
指導救命士主導病院前救護活動検討小委員会
岸和田市消防本部 木勢 翔太



大阪府泉州二次医療圏

管轄市町 : 12市町 (8市4町)

人口：約87万人

圈內三次醫療機關：2 機關

圈內二次醫療機關：33機關

大阪府泉州地域MC協議会

会長：地方独立行政法人
りんくう総合医療センター
病院長 松岡 哲也 先生

構成消防本部：

泉大津市消防本部

忠岡町消防本部

貝塚市消防本部

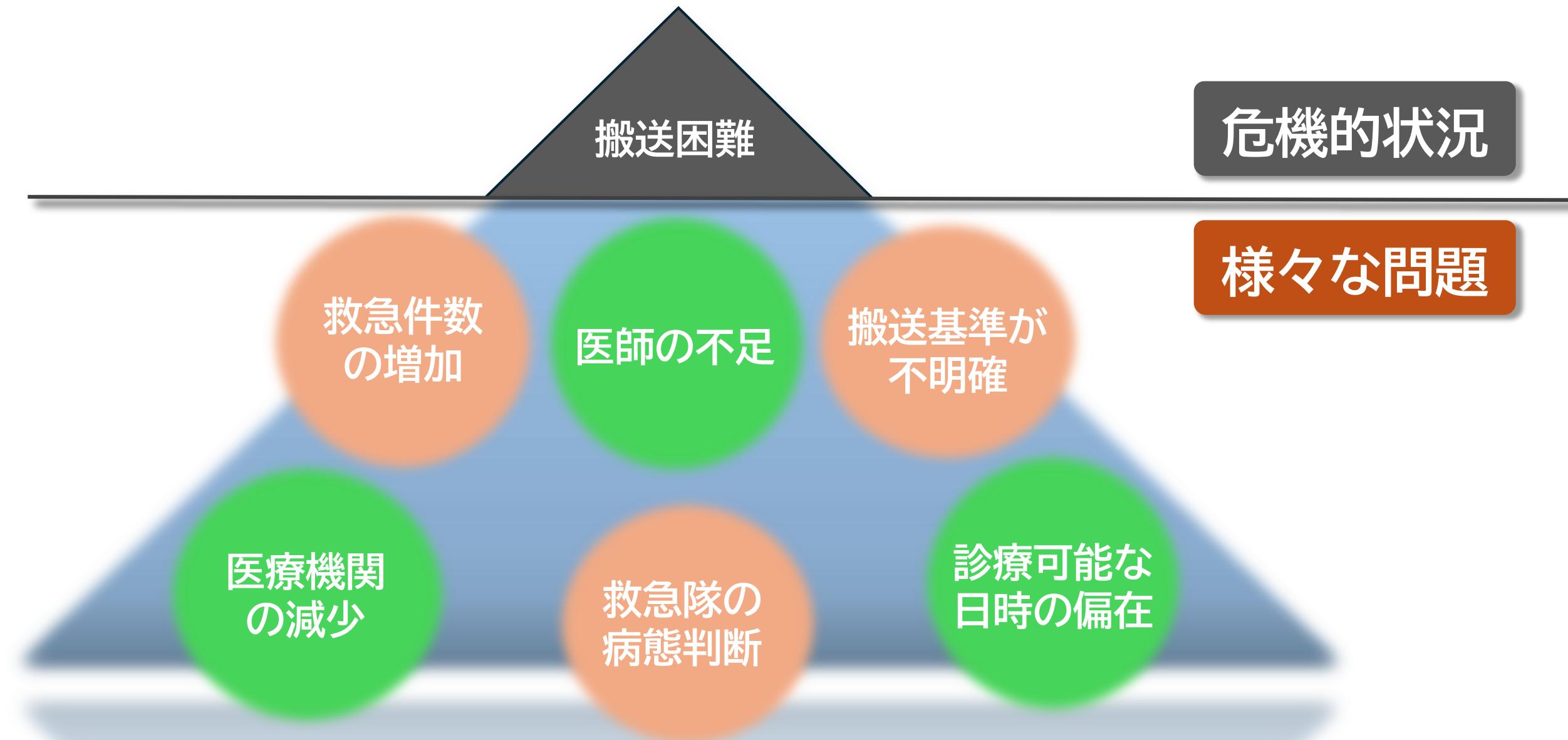
（※高石市は堺市消防局管轄）

和泉市消防本部

岸和田市消防本部

泉州南广域消防本部





最重症救急搬送患者



三次救急医療機関
(救命救急センター)

医療圏外

中等症重症救急搬送患者



吐下血・脳卒中

特定病態

二次告示医療機関

二次告示医療機関

二次告示医療機関

二次告示医療機関

二次告示医療機関

軽傷救急搬送患者
時間外外来患者

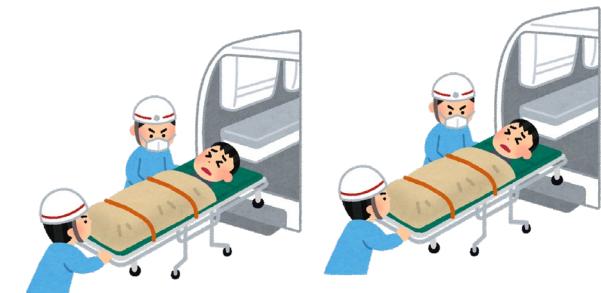
初期救急病院

初期救急病院

初期救急病院

最終受け入れ当番病院制度の開始

1次～1.5次



2次



3次



初期診療病院

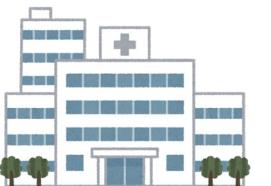
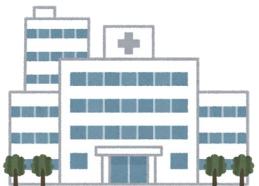
2次医療機関

特定病態

診療可能2次医療機関

3次医療機関

最終受け入れ当番病院制度



特定病態に対し「365日24時間」受け入れ可能とした制度

搬送及び受け入れ体制の検証を含めた検証会議の開始

検証会議

救急医療体制
事務局の参加



A : 模範的な活動

B : 適正な活動

C : 改善が必要

D : 医療機関の対応に問題

E : 医療体制の問題等



不応需時の状況を迅速に調査



搬送側の
状況



受け入れ側の
状況

不応需症例（症例・調査結果）報告書			
傷病者の状況			
覚知日時	令和 年 月 日 時 分		
傷病者（年齢・性別）	傷病者の詳細		
主訴・症状・症候			
救急隊判断傷病名	緊急度判定		
不応需であった最終受け入れ当番病院			
医療機関名称	依頼先数		
応対者氏名	箇所目		
受入れ要請日時			
医療機関側の対応			
最終搬送先医療機関			
医療機関名称	診室科		
受入れ日時			
最終診断名（重症度）			
不応需病院の詳細			
最終受け入れ病院			
その他の不応需医療機関			
箇所目	医療機関名	患者容態、その他	
他不応需病院			
不応需医療機関の調査結果			
調査依頼日時			
回答日時			
報告者氏名			
医療機関側の回答			
救急医療体制事務局による調査			

受け入れの問題点を直接医療機関へ

検証会議

病院側の問題/医療体制の問題



MC事務局の精査/報告書の作成

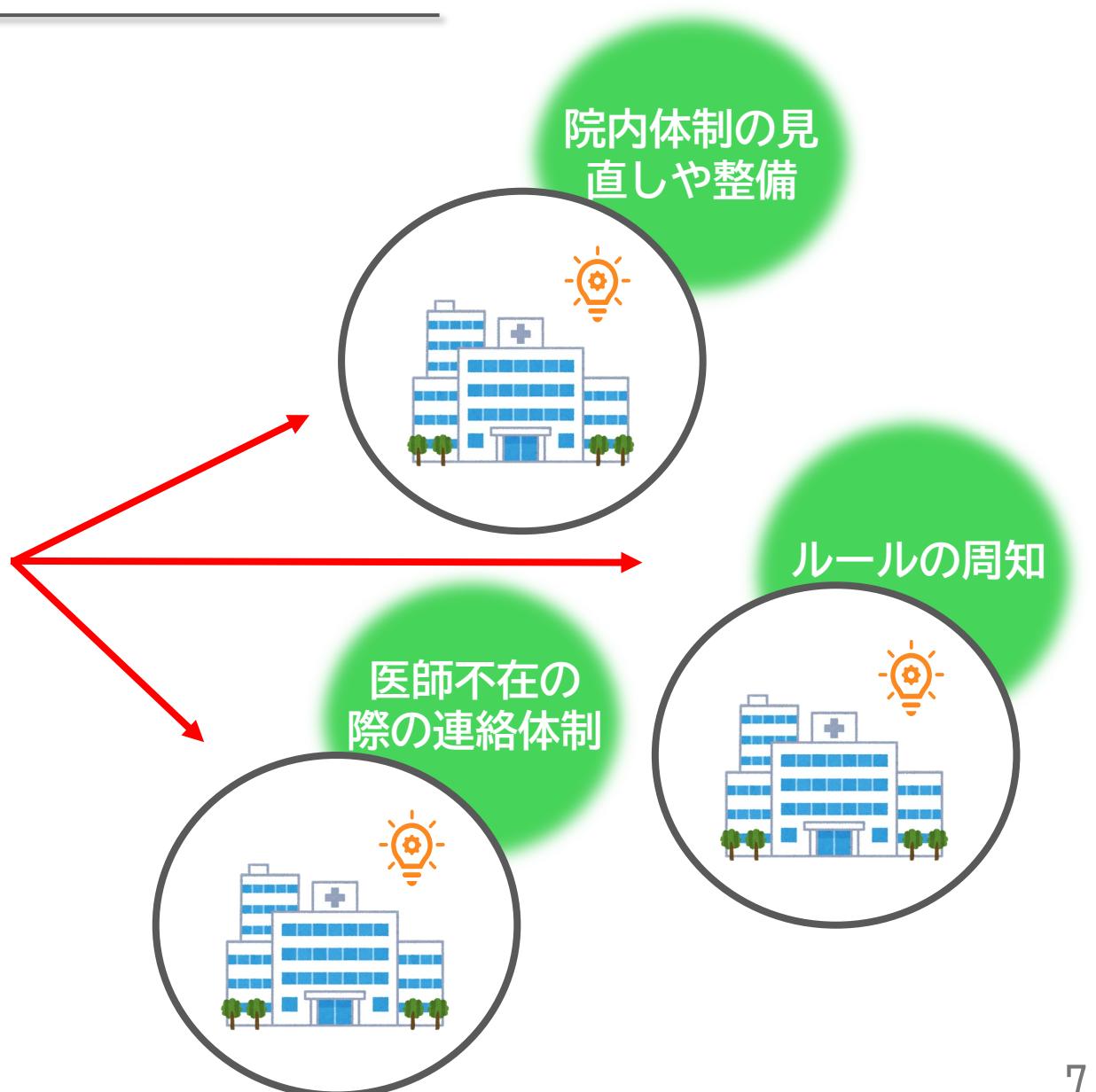
救急医療体制事務局のDB作成/フィードバック



救急医療体制検討の場



データによる検討



実行性の高い制度構築による救急医療体制全体の改善

検証会議



受け入れの問題を提出



検証会議での検証と報告書の提出

救急医療体制事務局



救急医療体制改善への実行性のある循環サイクル

救急医療体制の改善



救急医療体制

院内での体制整備
制度の理解



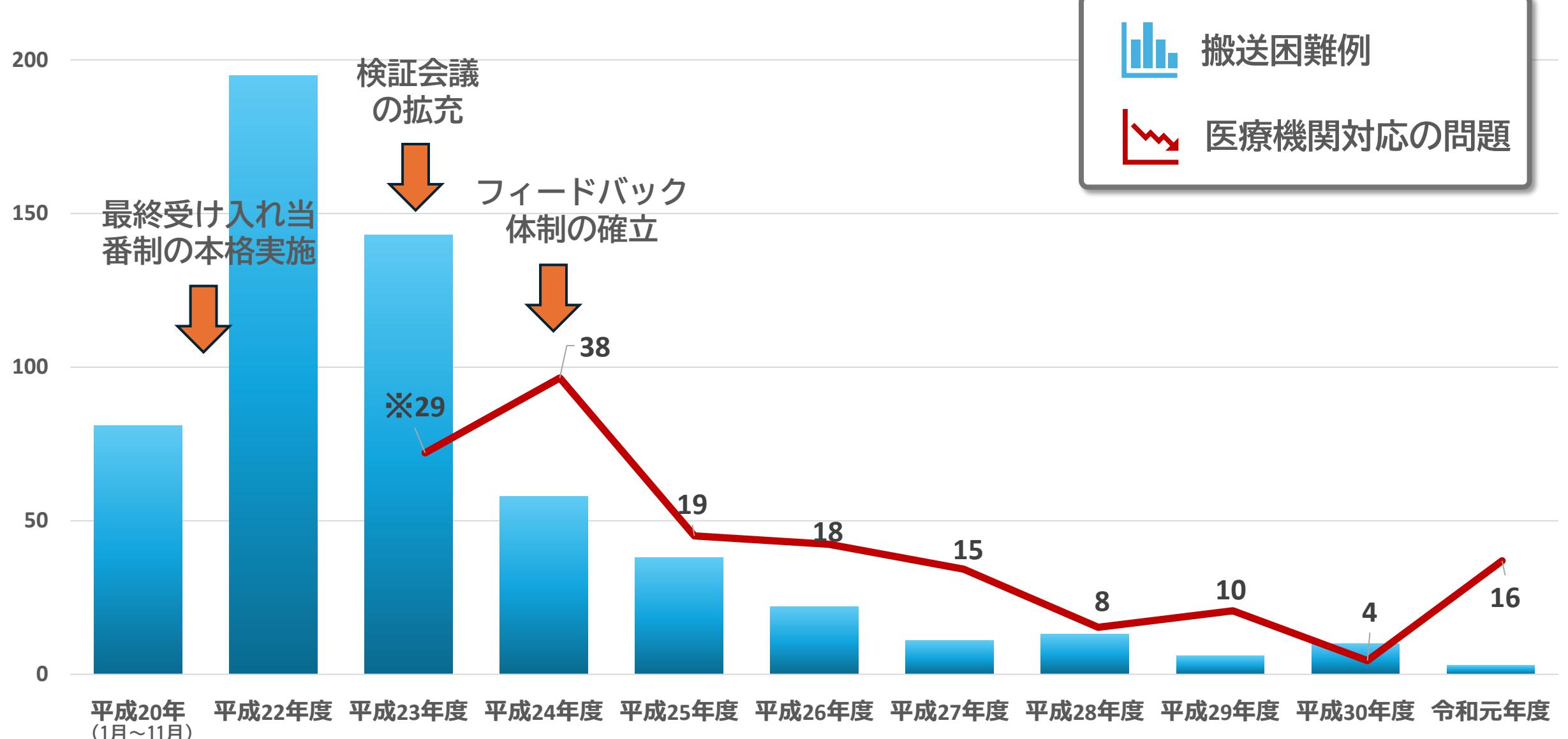
医療機関

個別医療機関へのフィードバック

※Google Geminiで生成

※Google Geminiで生成

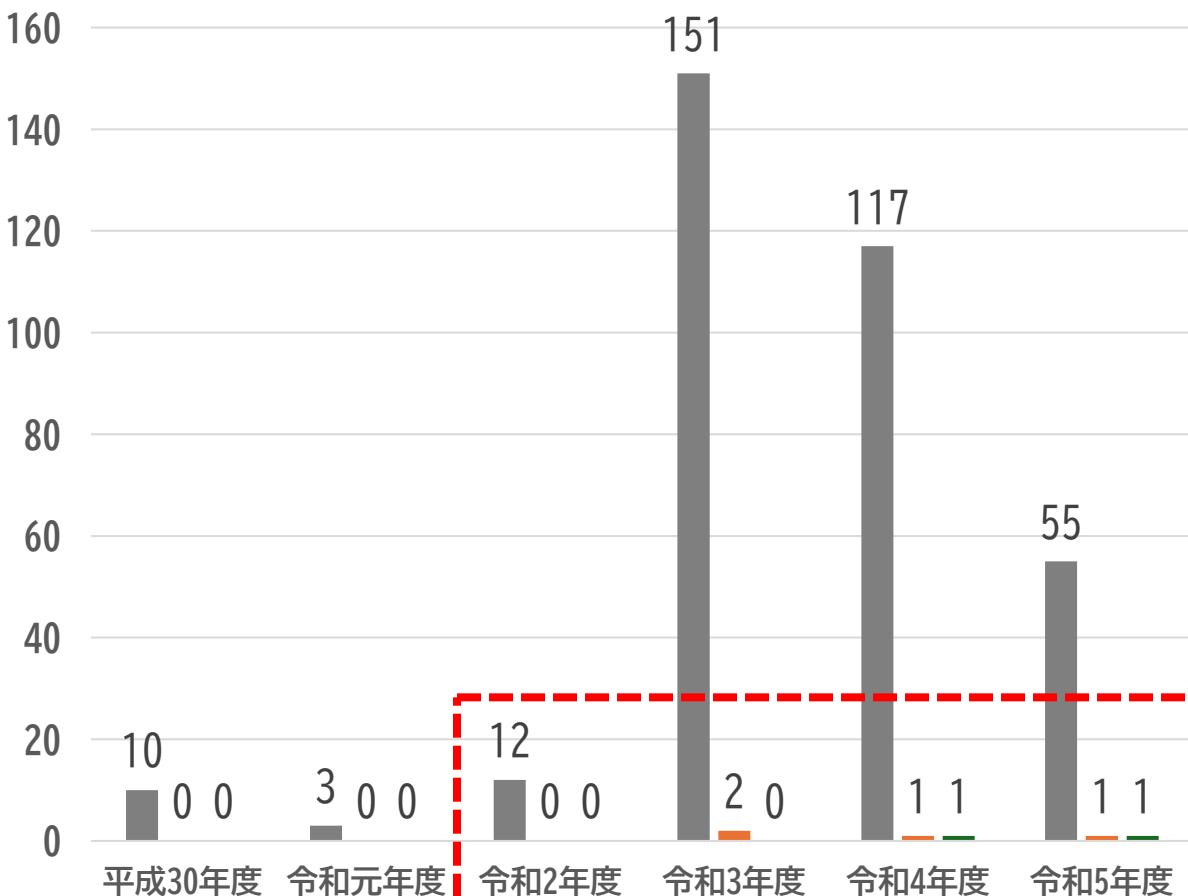
「問題症例」の減少と地域への効果



＊有事でも平時からの連携効果を発揮

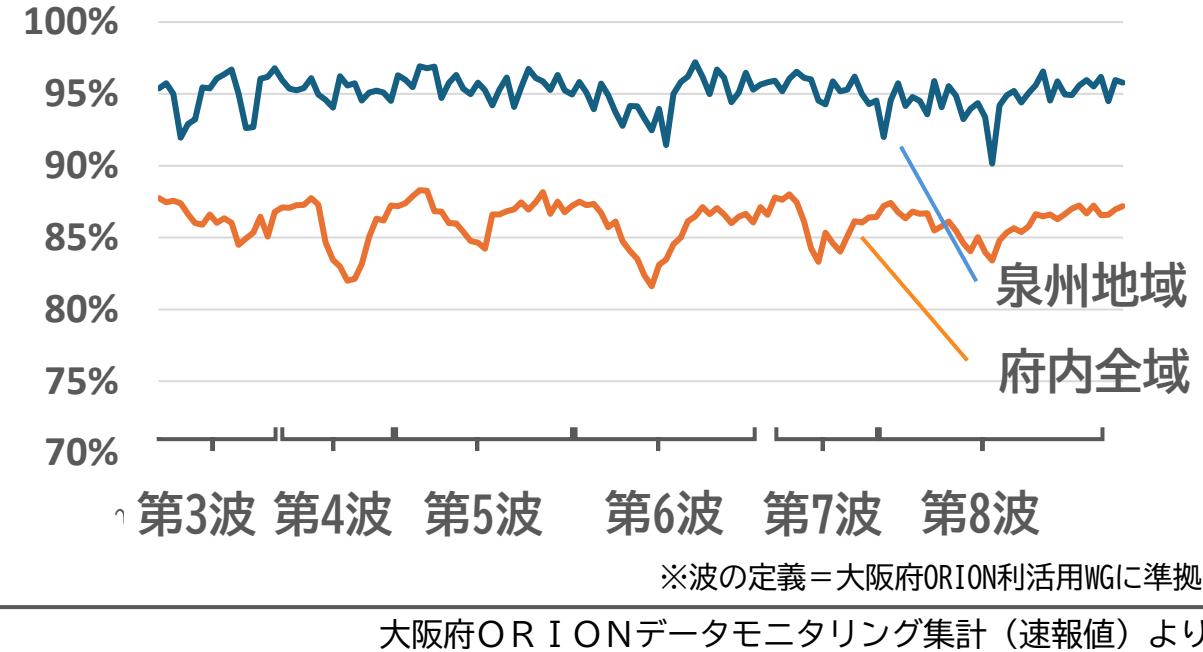
特定病態（脳卒中・吐下血）の搬送困難例発生件数

■搬送困難全体 ■消化管出血（吐下血） ■脳卒中

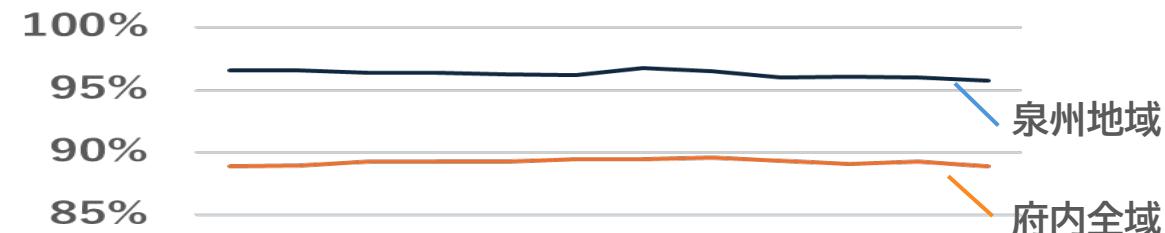


泉州救急懇話会（第18回）資料より

新型コロナウィルス感染症蔓延下の圏域内搬送率



コロナ禍前（2019年・1～12月中）の圏域内搬送率



大阪府ORION利活用WG 新型コロナウィルス発生と救急医療体制・救急患者への影響に関する解析（2019年対2020年）より

- ✓ MC協議会と救急医療体制の検討機関
- ✓ これらの強靭な連携体制の構築
- ✓ この連携基盤を活かし今後の課題への対策を

ご清聴ありがとうございました。

大阪府泉州地域MC協議会
指導救命士主導病院前救護活動検討小委員会
岸和田市消防本部 木勢 翔太

